

笑顔あふれるまちづくり



いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員区政報告

NO. 360. 2011. 6. 12.

区の施設・イベントは25%以上削減

節電にご協力とご意見を

区民向け目標15%以上削減

節電対策による施設の休館等 (7月～9月)

総合体育館・戸越体育館	原則10日、20日、30日休館(土日祝は翌日)
温水プール(学校)	原則10日、20日、30日休館(土日祝は翌日)
学校施設開放(体育館)	原則10日、20日、30日休館(土日祝は翌日)
学校施設開放(グラウンド)	夜間は7月～8月は中止(9月は状況による)
学校プール夏季一般開放	夜間枠の開放中止。土日昼間は開放
公園運動施設	夜間は7月～8月は中止(9月は状況による)
文化センター	原則10日、20日、30日休館(土日祝は翌日)
温水プール(荏原文化センター)	原則10日、20日、30日休館(土日祝は翌日)
きゅりあん、歴史館	通常
プラネタリウム(五反田文化センター)	通常
区民集会所	8月10～19日・22・30・9月12日・20・30
児童センター(オアシスも)	グループ割をし、7月～9月まで輪番制
図書館	開館時間は9時～19時1時間短縮(火～土)、毎週木曜日臨時休館日、ただし荏原、五反田は文化センターと同じ日に休館日。
中小企業センター	スポーツ室、ヘルストレーニング室は一定の計画休館日を設ける

6月6日各委員会で、区の節電対策による施設の休館等について報告がありました。ご協力をお願いするとともに、改善点などありましたらご意見ください。

「街路灯を消しすぎではないか」「公園が暗くて危険」の声も届いています



①区の施設・イベントは、照明削減、空調の適切温度設定等により、電力使用量を前年度比25%以上削減。☆保育園、特養ホーム等は、利用者の健康保持に留意し節減。
☆集会所・文化センター・公園運動施設・図書館などは、臨時休館や時間短縮なども検討し節減。
☆イベントは、照明やエアコンなど設定を控えるなど
②区民向け対策
事業者・地域・家庭等の協働による、5月15日から節電ビズキャンペーンを展開、広報、ホームページ、PR用うちわな配布などで周知。
節電を呼びかけます。一方、街路灯3割、公園灯はトイレ周りを除き消灯では、暗すぎるの声も出ています。ご意見ください。

いいぬま事務所の無料法律相談日は、6月17日（金）午後6時から8時、いいぬま事務所にて。弁護士が対応しますのでお気軽に予約をどうぞ。

バザーに来てください

6月26日10時から14時まで
いいぬま雅子事務所にて（雨天7月3日）
（小山2-16-1）
品物のご提供もよろしく願いいたします。
問合せは、いいぬま事務所（留守電の時は連絡先を入れてください）まで

3・11東日本大震災の教訓をくみ尽くし、品川の防災を見直すために特別委員会が設置されました。品川を災害に強い街に変えていくためには、英知を集めなければなりません。何よりも区民のみなさんの意見が必要です。どしどしご意見をお寄せください。

品川区内震度5強の地震の被害状況はどうだったのでしょうか。地盤のひび割れ、瓦・タイルの落下、建物のひび割れ、食器戸棚が倒れたなどの被害が発生しました。

「交通が止まり、帰宅が翌朝11時だった」「エレベーターの復旧まで3日かかり外へ出られなかった」（車いす利用者）「高層マンションでは、高齢者が1階の集会室で宿泊した」「揺れが長く続き船酔い状態だった」「水や乾電池が

震災対策特別委員会始まる
地域からのご意見とりいれ活発な委員会に

いわき市に住む友人から怒りのメールが届きました

6月7日おはようございます。いわき市の保育園では、0歳児の外遊び中止、抱っこして5分以内の散歩のみ。1、2歳児は15分。3～5歳児は30分。砂遊びはダメ、毎日はダメ。帽子、スモック着用のこと。頭から下まで放射能を払い部屋に入り、スモックは持ち帰り、手洗い、顔洗い、うがいをして一段落。放射線量が一番低いと言われている場所なのに、子どもたちがかわいそう。（いわき市：0.21…震災前の最大平常値は0.06。福島市：1.30、飯館村：2.95、新宿区は0.06マイクロシーベルト/時）。

総理は誰でもかまわない！今は原発と復興のことだけ集中してほしい。議会は、原発や津波の被害があった場所でやってもらいたい。

友人は、以前区内保育園で働いていた私の元同僚です。福島原発事故が起きた直後、「子どもを放射能にさらしたくない」の長女の叫びで、車を走らせ、孫4人と娘総勢7人で品川に避難してきました。一向に先が見えない中、4月28日いわきに戻りました。

手に入らず不安」「公園の放射線量を測定して公表してほしい」など声が届いています。

地域では、家を倒さないための耐震補強、耐震シェルター、家具転倒防止助成への関心が高まっています。倒壊家屋から救助のための機材を検討している町会もあります。自治体も、地域も個人も今備えるときです。助け合える地域をつくりましょう。いいぬまは特別委

救援・復興支援 第2弾

宮城県東部地区（石巻周辺）に、支援物資の届けとボランティア派遣を行います。

6月26日（日）午後9時地区事務所集合し車で行く。民宿に1泊し、帰宅は29日夜。支援物資と募金の合わせて受け付けています。問合せ：地区委員会

員会の委員長の大役をいただきました。みなさんからのご意見を反映しがんばります。

品川区が放射線量の測定を6月中旬から実施します。専門業者に委託し、結果を区のホームページなどで公表します。詳しくは次回。